

(別紙5)

整理番号 2020P-134  
補助事業名 2020年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業  
補助事業者名 特定非営利活動法人 日本バリアフリー協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

音楽コンテストへの出場を通して、専門家の評価が得られ、他の演奏機会が増えることで、障がいを持つ音楽家の活動支援とする。また、音楽性・完成度の高い音楽作品の観覧を通じて、障がい者の自立の可能性・必要性について一般の人々の啓発とする。もって、障がい者の分野における社会福祉の増進に資する。

### (2) 実施内容

第17回ゴールドコンサート (<https://gc.npojba.org/>)

2020年11月21日(土)東京国際フォーラム ホールCにて第17回ゴールドコンサートを開催。障がいを持つ音楽家が出場する、本格的な音楽コンテスト。全国、海外から選抜された6組が出場(新型コロナウイルスの影響で3組が欠場となった)。グランプリ、演奏賞、特別審査員賞、観客賞(観客投票の第1位)を決定した。特別ゲストとして木田俊之(映像出演)、ゲストとして第16回ゴールドコンサートグランプリの笙YUUが出演した。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一部の関係者を除き、インターネット生配信での視聴とした。また、会場では消毒や距離を確保などの感染拡大防止対策を行いながら開催した。



△ インターネット生配信画面



△ 表彰式の写真

## 2 予想される事業実施効果

- ゴールドコンサートの受賞者・出場者が、このコンサートをきっかけとして、演奏のみならず、出演依頼や各メディアの取材依頼を受けるなど、音楽活動の場の拡大。(ゴールドコンサートの出場をきっかけに大手メディアに取り上げられたり、

(別紙5)

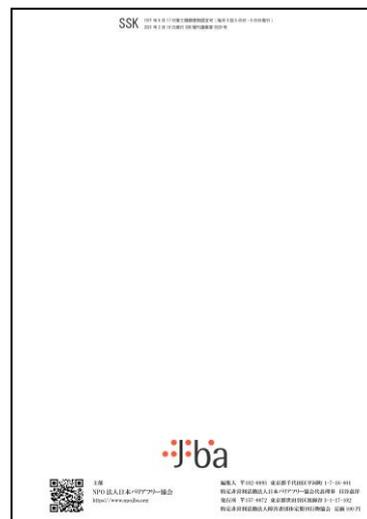
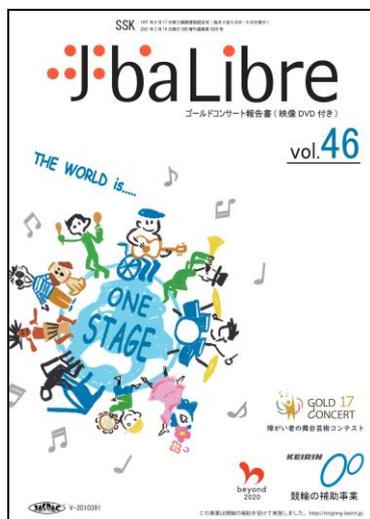
タイアップされたりすることによって、音楽関係者の目にとまりCDデビューした出場者もいた)

- 事業の継続をすることで、多くの障がいをもつ音楽家の実力が、自分自身・社会に対して証明されるため、自立と社会進出の足掛かりとなる。
- 観客は障がい者が奏でる音楽のレベルの高さに意外性を覚え、障がいに対して関心を持ち、障がい者の「出来る」部分に注目し始める。
- 障がい児や保護者が鑑賞することで、将来について話し合うきっかけになり意識に変化をもたらす。
- ゴールドコンサートの受賞者・出場者の出演依頼やメディア露出の増加により、イベントの知名度が上がり、音楽家を目指す障がい者が、本コンサートへの出場を目標とすることが活動の意欲となり、日々努力をすることで将来のステップへのきっかけとなる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

第17回ゴールドコンサート報告書 (DVD付き)



(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの  
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人日本バリアフリー協会  
(トクテイヒエイリカツドウホウジンニホンバリアフリーキョウカイ)

住 所 : 〒102-0093  
東京都千代田区平河町1-7-16-801

代 表 者 : 代表理事 貝谷 嘉洋 (カイヤ ヨシヒロ)

担 当 部 署 :

担 当 者 名 : 高橋 純代 (タカハシ スミヨ)

電 話 番 号 : 03-5215-1485

F A X : 03-5215-1735

E - m a i l : [takahashi@npjba.org](mailto:takahashi@npjba.org)

U R L : <https://gc.npojba.org/>